2026(令和 8)年度

日本東洋医学会

滋賀県学術講演会

テーマ

日常遭遇する疼痛の治療

講演要旨集

現地開催＆ZOOM

2026 年 12 月 13 日(日曜日)

2026（令和 8）年度 日本東洋医学会 滋賀県学術講演会

あいさつ

会　長　　浮田　徹也（浮田クリニック　院長）

2026 年度日本東洋医学会関西支部滋賀県部会を 2026 年 12 月 13 日に、滋賀県大津市の浮田クリニック研修室「せせらぎ」で会場と ZOOM によるハイブリッド形式で開催させていただきます。

医師、薬剤師、鍼灸師が苦労する「日常遭遇する疼痛の治療」をテーマにしたいと思います。医師の行う問診は素晴らしいが、切診をしないで問診と視診で証をとらえようとする薬剤師の技術は医師の四診に負けず劣らず優れた技術である。また、頭痛、肩こり、喘息、三叉神経痛などへの鍼灸の技に感心させられる機会も多い。診療中に鍼灸を取り入れると外来患者さんの診療を時間内に終了できなくなるが、それでも、鍼灸治療はしばしば即効性を発揮する。頭痛、肩こり、三叉神経痛、生理痛や骨盤位などには短時間の施行で即効の結果を得ることができる。医師、薬剤師、鍼灸師の 3 領域の診療を常に意識した診察は、患者さんをより満足させることができるであろう。

今日の講演を縁に診療の範囲が少しでも広がれば幸いです。

医師、薬剤師、鍼灸師の方々と膝を交えてお話ができればと思う。

本日の講演をお楽しみ下さい。

教育講演　講師　　梶本 めぐみ　先生
関西医科大学総合医療センター　婦人科 漢方外来
演題名　当院産婦人科における疼痛治療への漢方治療

特別講演Ⅰ　講師　　桐浴 眞智子　先生
大阪医科薬科大学病院　麻酔科・ペインクリニック
演題名　当院ペインクリニックにおける鍼灸治療

特別講演Ⅱ　講師　　間嶋 望　　先生
大阪医科薬科大学病院 麻酔科・ペインクリニック　科長
演題名　当院ペインクリニックにおける漢方薬治療

2026（令和 8）年度 日本東洋医学会 滋賀県学術講演会 開催概要

会　期　2026 年 12 月 13 日（日）9 時 30 分～13 時 00 分

会　場　せせらぎ会　浮田クリニック　研修室せせらぎ(2 階)
〒520－0242　滋賀県大津市本堅田 6-36-1

会　長　浮田　徹也(せせらぎ会　浮田クリニック　院長)

参加受付　登録期間　2026 年 10 月 14 日～12 月 12 日
学会本部 Web マナブル https://jsom.manaable.com/

参加登録費　3,000 円（学生無料）（参加費は非課税）

講演要旨集　関西支部会員宛への講演要旨集の事前発送、および参加者への冊配布はございません。関西支部ホームページからダウンロード可能です。
関西支部ﾎｰﾑﾍﾟｰｼ：https://www.kansaikampo.jp/web/

専門医・認定医単位・点数
10 点（Web　現地参加者）、受験単位　1 単位（現地参加者のみ）
出席点、発表点共に学術講演会終了後、記録をもとに事務局が登録いたしますが、万一登録されなかった場合に備えて参加費の領収書必ずお手元に保管しておいてください。領収書は参加登録システムログ　イン後の「メインメニュー」にてダウンロードが可能です。

公益社団法人日本薬剤師研修センター漢方薬・生薬認定薬剤師研修単位　2単位
薬剤師研修単位取得希望の先生は開催時間(9:30 から 13:00)の最初から最後まで参加された方の　QR　コードを読み取る必要があります。研修開始前に余裕をもって受付をして下さい。

日本医師会生涯教育単位　3 単位（自己申告してください）

申込方法

https://jsom.manaable.com/から日本東洋医学会のホームページの「研修一覧検索＆研修申込サイト manaable」に入ってください。
Manaable を初めてご利用される方は、新規ユーザー登録が必要になります。
日本東洋医学会研修申込サイト トップページの画面左則の「ログイン・新規登録」をクリックし、画面の案内に従って、登録を済ませてください。
日本東洋医学会会員はもちろん、会員以外でも参加できます。

WEB視聴のご案内

マナブルからの参加登録が必須です。参加費はマナブルからカード決済していただきます。Web でのライブ配信は Zoom にて行いますので、事前に Zoom を取得しておいてください。Zoom 公式ページから取得できます。
漢方薬・生薬認定薬剤師研修単位を必要とする方は、薬剤師免許番号を記入してください。　https://zoom.us/
また、視聴はマナブルからログインしてください。
現地では参加費を現金取り扱いいたしませんので、必ずマナブルでのカード決済を済ませてください。
「WEB（視聴画面）」へのログイン方法については、以下をご確認ください。
インターネットへの接続は、通信環境の良い場所でご参加ください。
有線 LAN のご利用を推奨します。
「視聴ページ」へのログイン方法
マナブル https://jsom.manaable.com/ に入室し、ご自身の ID・パスワードにてログインしてください。

演者・座長のご案内

発表は PC プレゼンテーションとなります。

発表データについて

受付時間：2026 年 12 月 3 日(木)までに運営事務局メール kanpou@ukita.gr.jp へパワーポイントで作成したスライドファイルを送信してください。
受付場所：せせらぎ会　浮田クリニック　研修室せせらぎ(2 階)
セッション開始 20 分前までにお越しいただき、動作確認・試写を済ませてください。
会場内機材は、下記をご用意しております。
OS：Windows11、PowerPoint 2013/2016/2019

データ持ち込み

① データは事前にメールにて kanpou@ukita.gr.jp へ提出してください。当日、念の為、USB フラッシュメモリに保存して持ち込みください。
② 事前にメディアのウイスルチェックを行っておいてください。また、可能な限り発表データのみを保存 USB フラッシュメモリをご持参ください。
③ OS 標準フォント(MS 明朝/MS ゴシックをご使用ください。
④ 動画使用の場合は、Windows Media Player で再生可能なものに限定します。

利益相反(COI)事項の開示

筆頭発表者は所定の様式(様式 3-A、3-B)を用い、以下の方法にて共同演者を含め、発表者全員の利益 相反(COI)状態の開示を最初のスライド(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に記載 してください。

なお、利益相反に関する規定及び各種様式は、日本東洋医学会の WEB サイトに掲載しておりますので、 ご利用ください。(様式 3-A または 3-B)日本東洋医学会 利益相反(COI)規定ページ http://www.jsom.or.jp/about/rieki.html

進行

視聴者からの質疑応答について

視聴者は、Zoom の QA 機能にて質問(コメント)投稿ができるようになっています。

ご回答の有無は 座長に一任させていただきます。

事 務 局:せせらぎ会 浮田クリニック

〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1 077-574-3751

E-mail:kanpou@ukita.gr.jp 担当 荒木 あゆみ 山田 絵里子

プログラム

開会の辞　9:30～9:35

会　長　浮田 徹也　せせらぎ会　浮田クリニック　院長

教育講演　9:35～10:35

座長　高橋 健太郎　先生　日野記念病院　顧問
滋賀医科大学産科婦人科学講座　客員教授
講師　梶本 めぐみ　先生　関西医科大学総合医療センター　婦人科 漢方外来
演題名　当院産婦人科における疼痛治療への漢方治療
質疑応答　10:25～10:35
休憩　10:35～10:45

特別講演Ⅰ　10:45～11:45

座長　祐森 泰郎　先生　祐森クリニック　院長
講師　桐浴 眞智子　先生　大阪医科薬科大学病院　麻酔科・ペインクリニック
演題名　当院ペインクリニックにおける鍼灸治療
質疑応答　11:35～11:45
休憩　11:45～11:55

特別講演Ⅱ　11:55～12:55

座長　浮田 徹也　先生　医療法人 浮田クリニック　院長
講師　間嶋 望　先生　大阪医科薬科大学病院 麻酔科・ペインクリニック　科長
演題名　当院ペインクリニックにおける漢方薬治療
質疑応答　12:45～12:55

閉会の辞　12:55～13:00

滋賀県部会 会 長　浮田 徹也 せせらぎ会 浮田クリニック

教育講演

「当院産婦人科における疼痛治療への漢方治療」

関西医科大学総合医療センター　婦人科 漢方外来

梶本 めぐみ

慢性外陰部痛には有効とされる西洋薬がないため日本では漢方治療が行われてきた。慢性外陰部痛とは明確な原因疾患がないにもかかわらず 3 か月以上続く外陰部痛と定義され海外でも治療方法として確立したものはない。そのため本邦では抗うつ薬とともに様々な漢方薬での治療報告があり当院漢方専門外来にも関連病院や近隣の医療機関から慢性外陰部痛の患者が紹介受診される。

その治療について 2 症例を提示し漢方薬での治療経過を報告した。その中で併存症状の変化や漢方学的腹部所見の変化、自律神経の変化などを観察し、それらが慢性外陰部痛と関連があるのかどうかを検討した。さらに 2016 年 1 月から 2024 年 12 月までの 9 年間に当院漢方外来で治療を行った 56 症例の慢性外陰部患者について検討した結果を報告した。米国の報告では慢性外陰部痛の罹患率が 7%とされているが、当院外来での罹患率は 11%(56/515 症例)であった。これは当科が漢方専門外来であり慢性外陰部痛の紹介患者が多いためと考えた。55 歳以上の老年期での発症率が 27%(35/126 症例)と他の若年齢層に比べて有意に高かった(P＜0.01)。56 症例中 37 症例(66%)の症例に治療効果を認め効果の有無に発症年齢、罹患期間、証は関連がなかった。漢方薬のみで治療した人数が 27 症例と一番多く、そのうち 22 症例(81%)に効果を得た。漢方薬と西洋薬を併用した症例は 14 症例あり、うち 13 症例(93%)に効果を得た。使用した西洋薬は抗うつ薬、抗不安薬、眠剤、神経障害性疼痛治療薬、下剤など、漢方薬は 24 種類の医療用漢方エキス製剤を用いた。

慢性外陰部痛の発症と持続には複数の病態生理機構が関与しているため薬物的、理学療法的、心理的アプローチを組み合わせた治療が推奨されている。その中で漢方治療は多様な治療が簡便に低侵襲で行える有用な治療方法のひとつと考えており、当院漢方外来での治療について検討し報告した。

略歴

2000 年 3 月　関西医科大学医学部卒業　医師免許取得
2000 年 4 月～2002 年 9 月　同大産科学婦人科学教室で研修
2002 年 10 月～2004 年 12 月　済生会野江病院産婦人科へ出向
2005 年 1 月～2006 年 2 月　関西医科大学附属病院　産科学婦人科学教室へ帰向
2005 年～　京都府立医科大学の三谷和男先生に師事し漢方の研修を開始
2005 年　日本産婦人科学会　産婦人科専門医取得
2009 年～2012 年　市立奈良病院産婦人科勤務
2012 年　日本東洋医学会　漢方専門医取得
2012 年～現在　関西医科大学総合医療センター産婦人科　漢方外来担当
2018 年　日本女性医学学会　女性ヘルスケア専門医取得
2020 年　日本東洋医学会漢方指導医取得

所属学会

日本産科婦人科学会　産婦人科専門医
日本東洋医学会　　漢方専門医　　指導医
日本女性医学会　　女性ヘルスケア専門医
和漢医薬学会

特別講演 1

当院ペインクリニックにおける鍼灸治療

大阪医科薬科大学病院　麻酔科・ペインクリニック

桐浴　眞智子

伝統医学の一つである鍼灸療法は、痛みや痺れ、自律神経機能異常に伴う諸症状に対して用いられる代表的な非薬物療法であり、近年は補完・代替医療の一つとして注目されている。大阪医科薬科大学病院麻酔科・ペインクリニック外来では、1966 年の開設以来、鍼灸師が診療に参画し、神経ブロック療法や薬物療法などの現代医学的治療と鍼灸療法を組み合わせ、多様な疼痛や随伴症状に対応してきた。

痛みの中でも慢性痛は、器質的要因に加え、心理的・社会的要因が複雑に関与することが多い病態であり、単一の治療法では十分な改善が得られないことも少なくない。鍼灸療法は痛みそのものの軽減に加え、睡眠障害、不安、冷え、倦怠感などの随伴症状にも対応しうる点に特徴がある。当科の鍼灸部門では、筋骨格系疼痛、神経障害性疼痛、がん治療関連末梢神経障害に伴う痺れ、抜歯後疼痛、自律神経機能異常に伴う諸症状など、さまざまな痛みや関連症状を対象としている。また、鍼を刺されることに抵抗のある患者には、Silver Spike Point（SSP）療法や近赤外線照射療法を活用し、患者の症状や希望に応じた治療法を選択している。

当科では、2021 年 12 月に「こどもの痛み専門外来」を開設した。麻酔科医、小児科医、臨床心理士らによる多職種チームに鍼灸師も参画し、成人のみならず小児慢性痛に対しても鍼灸療法を取り入れている。

本講演では、2021 年度から 2025 年度までの鍼治療、SSP 療法、近赤外線照射療法の受療患者動向を分析し、当科において鍼灸療法がどのような痛みや随伴症状に対して活用されているか、その実態を報告する。あわせて、現代医学的治療と鍼灸療法の併用により症状の緩和や QOL 向上が得られた症例を提示し、慢性痛診療における統合医療の実践例として、現代医学と伝統医学の連携がもたらす臨床的意義と今後の展望について考察する。

略歴

1983 年　帝塚山短期大学（現帝塚山大学）工芸・美術史専攻卒業
1992 年　広告・イベント関連の CG デザイン及びアートディレクション業務（～2012 年）
2008 年　明治東洋医学院専門学校鍼灸学科卒業
　　はり師・きゅう師国家資格取得
2013 年　大阪医科大学附属病院　麻酔科（現　大阪医科薬科大学病院　麻酔科・
　　ペインクリニック）入職
2014 年　明治国際医療大学通信制大学院修士課程修了
現在に至る

所属学会

日本東洋医学会
全日本鍼灸学会
日本伝統鍼灸学会　　評議員
日本統合医療学会
経絡治療学会

特別講演 II

当院ペインクリニックにおける漢方薬治療

大阪医科薬科大学病院　麻酔科・ペインクリニック　科長

間嶋　望

当院ペインクリニックでは、成人・小児の慢性疼痛に対して、西洋医学的治療を基本とし、十分な改善が得られない症例や、副作用により薬物療法の継続が困難な症例には、漢方薬を積極的に併用している。
慢性疼痛は器質的異常だけでは説明できない場合も多い。疼痛が遷延・慢性化する原因として末梢循環障害による瘀血や血虚などの血の異常、気虚や気鬱など気の異常、冷えなどが複雑に関与することも多く、西洋医学的な病態生理と漢方医学的視点に基づいた随証治療の戦略が有効である。

日常診療で、成人の頭痛・頸部痛・肩こり・腰痛・下肢痛はよくみられるが、瘀血、気の異常、冷えが関与していることが多い。冷えを伴う疼痛には桂枝加朮附湯や当帰四逆加呉茱萸生姜湯を選択する。瘀血所見には桂枝茯苓丸や桃核承気湯、気鬱やいらだちを伴う場合には加味逍遙散を証に応じて選択する。また高齢者では、疼痛の遷延化に伴い日常生活における活動量の低下、食欲低下、体力消耗もしばしばみられ、補中益気湯、十全大補湯、加味帰脾湯など補剤を併用することで、疼痛の軽減につながる場合も見られる。

当院のこどもの痛み外来では、小児の慢性疼痛の治療を積極的に取り組んでいる。小児の慢性疼痛はアセトアミノフェン、非ステロイド性抗炎症薬で十分な改善が得られない場合、使用できる薬物が限定される。また小児の慢性疼痛は心理社会的背景の影響も強い。小児慢性疼痛に対する漢方薬の有効性を検証した臨床研究は限られており、エビデンスは十分ではないが、臨床において漢方薬が奏効する症例を経験することは少なくない。漢方薬は小児慢性疼痛の集学的治療における有用な治療選択肢として用いている。

本講演では、成人・小児の慢性疼痛における漢方導入の実践ポイントを提示し、慢性疼痛診療における漢方治療の有用性について考察する。

略歴

2004 年 3 月　大阪医科大学卒業
2004 年 4 月　大阪医科大学　研修医
2006 年 4 月　大阪医科大学　レジデント（麻酔科）
2007 年 4 月　康生介武田病院　医員
2008 年 4 月　兵庫県立こども病院　専攻医
2009 年 4 月　大阪医科大学　助教（准）
2010 年 4 月　大阪三島救命センター　医員
2011 年 4 月　大阪医科大学　助教（准）
2012 年 4 月　市立枚方市民病院　医長（麻酔科）
2013 年 4 月　大阪医科大学　助教
2020 年 3 月　大阪医科大学　講師
2021 年 4 月　大阪医科薬科大学　講師
2025 年 4 月　大阪医科薬科大学　麻酔科学教室　科長
現在に至る

所属学会

日本麻酔科学会　代議員
日本小児麻酔学会　代議員
日本ペインクリニック学会　評議員
日本麻酔科学会　学術集会実行委員会　小児・産科ワーキンググループ　サテライトメンバー

会場アクセス

駐車スペースを約 50 台分
JR 湖西線「堅田駅」より徒歩 2 分

会　長　　浮田　徹也(せせらぎ会　浮田クリニック　院長)

2026(令和 8)年度 日本東洋医学会 滋賀県学術講演会 準備委員

実行委員長　髙橋　健太郎(日野記念病院　顧問　滋賀県医師会長)
事務局長　　西村　尚記(西村整形外科医院)
実行委員　　祐森　泰郎(祐森クリニック)
　　草場　紗智子(近江八幡市立総合医療センター　産婦人科)
　　戸成　智子(さとこ内科クリニック)
会　計　　浮田　徹也(医療法人　浮田クリニック)
　　(敬称略　順不同)